

# 品質・食味が良く、一番早く収穫できる

## 水稻<sup>わせ</sup>早生品種「ふさおとめ」

大粒で美味しい「ひとめぼれ」を母に、大粒でお米の外観がよく、早く収穫できる（早生）「ハナエチゼン」を父にして人工交配を行い、育成したお米です。

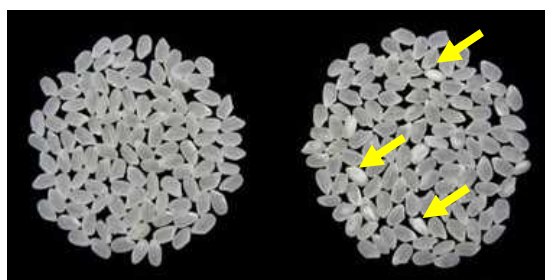
千葉県では一番早い 8 月中旬から収穫が始まり、お盆明けには店頭で並ぶ早生品種です。粒が大きいうえに、未熟な粒が少なく、お米の外観品質の良さは全国トップクラスです。さらに、「コシヒカリ」に負けにくい食味が良く、穂が出る前の低温やお米が成熟する時の高温による障害にも強い特長があります。

### 1 品種の特徴

- (1) 「ふさおとめ」は「コシヒカリ」と比べて粒が大きく、お米が白く濁る未熟粒が少なく、お米の外観品質は最上級です。

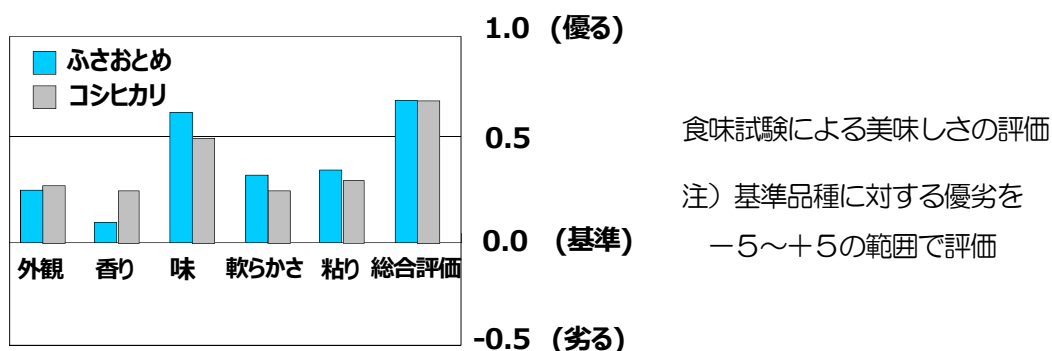


ふさおとめ(左)とコシヒカリ(右)の大きさの違い



ふさおとめ(左)とコシヒカリ(右)の未熟粒の状況  
(矢印が未熟粒を示す)

- (2) 「コシヒカリ」に負けにくい良食味です。



### 2 普及の状況

令和元年度の県内作付面積は、6,700ha であり、うるち品種の 1 割強程度を占めています。

### 3 問い合わせ先 千葉県農林総合研究センター

水稻・畑地園芸研究所 水田利用研究室 0478-56-0002

### 4 掲載年月

平成 30 年 1 月 (令和 3 年 3 月更新)